

関係各位

## 令和 5 年度 保育実践講演会のご案内

### テーマ「保育において多様な性を尊重すること」

尚綱子育て研究センター

尚綱子育て研究センター事業である保育実践講演会は、保育現場と共同して実践研究を重ねていく中で課題として浮上したことをテーマに、実践的な講演会を開催し、保育の質の向上につながる研修の機会を提供しております。今年度の第9回保育実践講演会は、“保育において多様な性を尊重すること”をテーマに学びを深めていく予定です。【第1部】、【第2部】の構成です。

#### 1. 日時

令和 6 年 1 月 17 日 (水)

13 時 45 分 受付

14 時～15 時半 【第1部】松崎志麻氏(くまにじ)による講演

「保育の場でも一緒に生きてる LGBTQ+ 知る、考える、行動する」

15 時半～16 時 質疑応答

16 時～18 時 【第2部】松崎志麻氏を交えて意見交換会(保育 Café)

#### 2. 場所

尚綱大学武蔵ヶ丘キャンパス 大学 4 号館 3 階保育実習室

#### 3. 参加者

保育現場の保育者 30 名程度

#### 4. 今年度のテーマ 「保育において多様な性を尊重すること～一人ひとりを大切にする保育～」

一人ひとりの性にはさまざまな側面があります。戸籍上の性別と異なった性を自認して生きる人もいれば、同性を好きになる人、女らしさ、男らしさといったジェンダーにとらわれない服装などを選び、自身を表現する人もいます。「男の子がリーダーで女の子は補助」といったような、性別役割意識は変わりつつあると言われますが、保育・教育現場において、服装や言葉遣い、立ち居振る舞いなどに見られる子どもの言動に対して、男らしさや女らしさを無意識に求めていることも少なからず見受けられます。また、3歳頃から性自認が芽生えますが、周囲の無理解によって、子どもの心の声や SOS に気付かず、子どもを傷つけていることが依然としてあります。まだまだ子どもだからといって、適切な対応がなされていないことも多いです。自分も含めた誰もが持つ多様な性のあり方を尊重することは、まさに一人ひとりを大切にする保育ということです。松崎氏の講演を聞き、これまでの保育を振り返りながら、多様な性を尊重することを含めた、一人ひとりに応じた保育について意見交換や個別相談会を行っていきたいと考えています。

#### 5. 申込先

尚綱子育て研究センター片桐真弓 ([mayumi@shokei-gakuen.ac.jp](mailto:mayumi@shokei-gakuen.ac.jp)) をお願いいたします。

【第1部】のみ【第2部】のみのご参加でもお受けいたします。